

ガルモハル

JAPANESE SCHOOL OF MUMBAI
Unit No.201/202,Hiranandani Knowledge Park,
Technology Street,Near Dr.L.H.Hiranandani-
Hospital,Powai,Mumbai-400076.India
TEL 022-6694-0630 FAX022-6221-5107

10 OCT/2023 NO 6

「合言葉は、『ムンバイ日本人楽幸！！』」

校長 佐藤 義朗

2学期は、修学旅行や野外活動、学習発表会と様々な行事が予定されています。子どもたち一人ひとりが、各行事において、自身の目的（目標）を定め、それに向けて手段（方法）を考え、日々成長し、大きな自信を得ていくことができるよう、先月の児童生徒朝会の校長講和でインド独立の父と言われている、マハトマ・ガンジー氏の言葉を子どもたちに紹介しました。

『目的を見つけよう。手段は後からついてくる』

ガンジー氏は「インド独立」という目的を実現するために、無抵抗主義という手段を取りました。その結果、見事に目的は達成されました。目的（目標）を持つと人間は動きやすくなります。目的（目標）はできるだけ自分の好きなこと、やりたいことに近いものにすること。手段（方法）についても、目的（目標）と同様、好きな手段（方法）自分が取り組みやすいやり方で取り組んでいきましょう。と。

本校では、子どもたちが、学ぶことに喜びや幸せを感じ学ぶことを楽しみながら日々成長していくことを願い、4月から「ムンバイ日本人楽幸」を合言葉に教育課程を編成してきました。本校の教育課題として、子どもたちの「英語力（特に堂々と話す力）の強化」と「体力（特に持続して身体を動かす力）向上」を目的（目標）を掲げました。そこで、限られた時間と施設設備の中で、子どもたちのために何ができるか、教職員で何回も検討を重ね、2学期から「English Club」と「体力向上タイム」をスタートしました。

「English Club」は、放課後の時間を活用し、・英語を使う ・楽しむ ・間違いを恐れない ・間違いを否定しない の4つのパスワード で活動しています。スイカ割のアクティビティでは、Blindfold(目隠し)、Move forward. Go straight (まっすぐ!) 2steps to the right(left)(2歩右(左)に進む) Turn right (left) (右(左)向いて) 1step back(1歩後ろに下がる) Stop (止まれ) Hit the watermelon (スイカを叩く) の英語を使い、子どもたちの口からは大きな声で英語が出るようになりました。

「体力向上タイム」では、授業前の朝の時間を活用し、最初に、3分間のウォーミングアップ、次にグループに分かれて5分間の大縄跳びを行っています。短い時間ではありますが、子どもたちは身体を動かすことの楽しさを感じているようです。身体を動かすことが好きになることで、生涯にわたって健康的で望ましい生活習慣を身に付けていってほしいと願っています。

今後も、「ムンバイ日本人楽幸」を合言葉に、ここで学ぶ子どもたちのために、職員が一丸となり取り組んでいきます。ご理解・ご協力の程、よろしく願いいたします。



インドで活躍する日本人！講演会



今年度から始まった「インドで活躍する日本人」の講演会。二学期も様々な分野、方面で活躍している方々をお招きしています。第三回は Panasonic Life Solutions India Pvt. Ltd.でご活躍されている溝江俊祐様にお越しいただきました。Panasonic はたくさんの商品を販売していますが、電気をつけたり消したりするときには必ず使う「スイッチ」も販売しています。



では、いかにして自社のスイッチを買ってもらうか。そのためにはクオリティを高めることはもちろん、マーケティングをしっかりと行って、ブランドを構築することが大切であり、目的を達成するためには現在置かれている位置を把握して、その方法と方向性を定めていくことが大切だといった大変興味深いお話をいただきました。



【児童生徒の感想より一部抜粋】

- ・わたしはじゃんけんクイズをして面白かったです。Panasonic やさんになりたいです。(小学部1年)
- ・苦手なことを克服するためには今ある課題(目標・ゴール)をどのようにして乗り越えていくかということを考えさせられました。(中学部2年)



四回目にお越しいただいたのは、こちらもおなじみの「ぺんてる」から、Pentel Stationery(India) Pvt. Ltd.で社長として活躍されている篠田哲郎様でした。

ご自身の経歴や会社、仕事のことなど社長ならではの視点でいろいろとお話いただきましたが、「ぺんてる」は篠田様が赴任されてからもどんどん業績が伸びており、新しく工場を建設しているということでした。また、SDGs についても力を入れ、「汚れた水は流さない」「電力をできるだけ抑える」「効率よく開発を進める」取組をしていることなど、貴重なお話をたくさん伺うことができました。



【児童生徒の感想より一部抜粋】

- ・「えっ社長さんって思っていたよりたいへんなんだあ」と思いました。でもこれからもがんばってください。(小学部2年)
- ・「ぺんてる」は世界でも生産、販売していることを知り、世界に飛び出しているんだと思いました。インドでも身近に感じられていてうれしいです。(小学部6年)

